

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

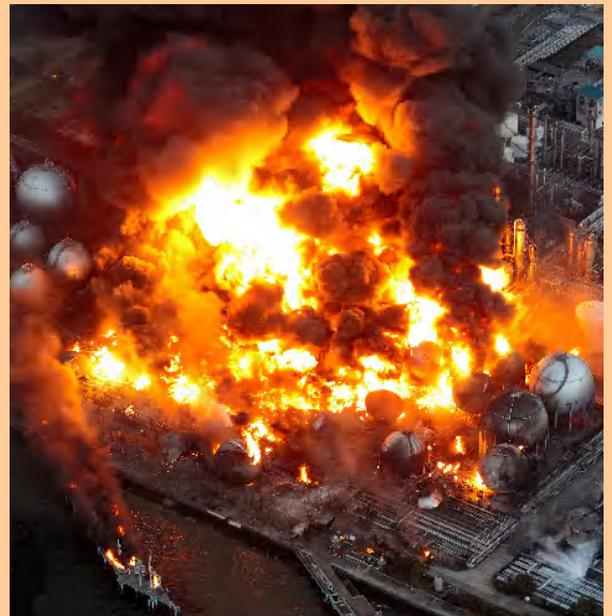
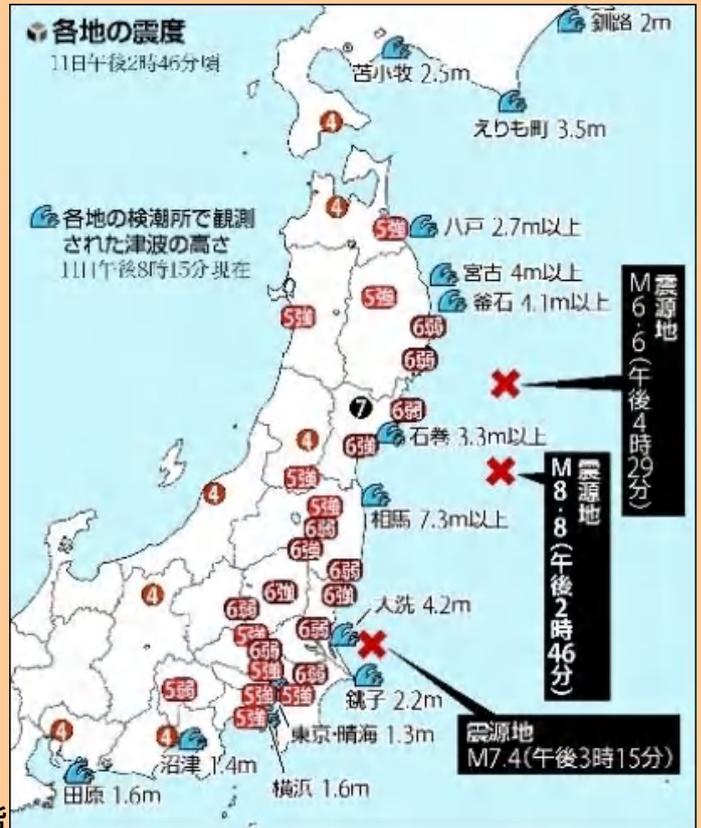
2011年3月11日（金）14：46 発生 86期 芳賀雅美 記

2011年3月11日（金）14：46、宮城県沖を震源とするM8.8（後で9.0に修正）の巨大地震が発生した。大きな余震は続き、自宅の千葉県市川市付近でも震度6弱、職場の千葉県袖ヶ浦市の先進技術研究所で震度5強の揺れだった。2日前の3月9日（水）には、この前震だったのか、北側20kmでM7.3の地震があったばかりで、一連のプレート破壊によるものと考えられる。

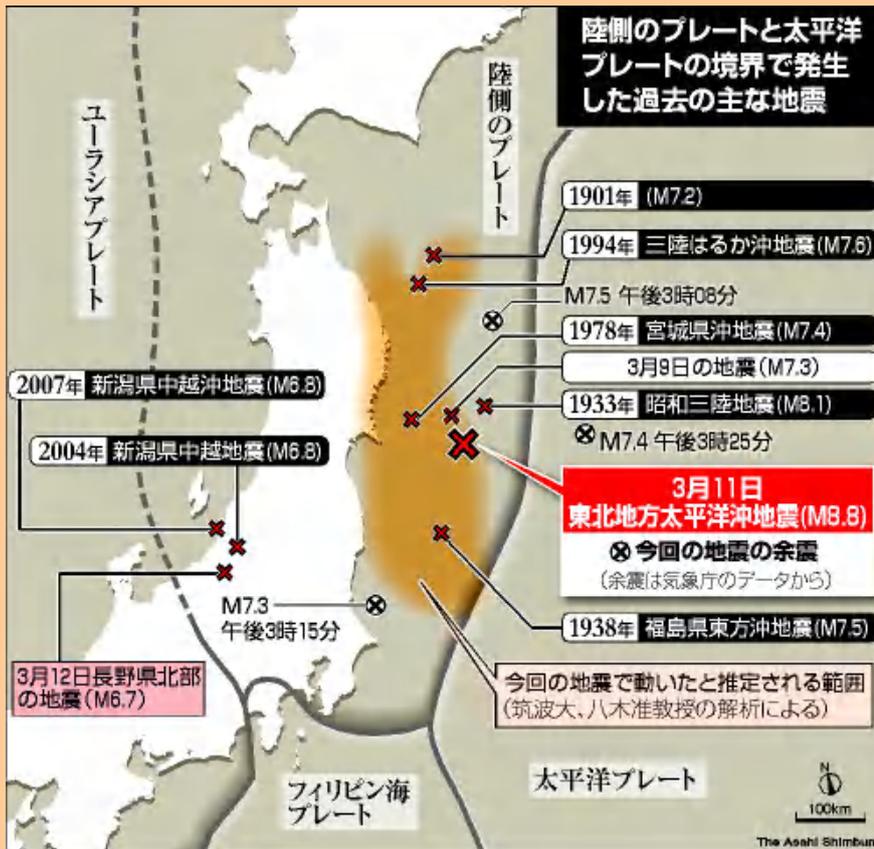
私は出光先進技術研究所の西棟4階の所員室にいたが、かなりの揺れ125ガルという自動アナウンスを聞いた。ゆっくりとした横揺れで、時間は6分くらいと長い時間であった。すぐに自衛防災体制で屋外の第三指揮所に集合し、点呼・所外連絡を実施中にも大きな余震が何度も発生した。特に15：15にはM7.4の茨城県沖を震源とする地震（単独でも大地震）が発生。地面に座り込んだ。

15：30頃より、余震がある程度治まったと判断し、職場の点検に走った。担当区域の実験室の安全点検である。防火扉が自動で閉鎖していたが、電源を停止し被害の確認を実施し、安全環境班に報告した。

16：30頃、従業員の帰宅指示が出たため派遣社員・請負社員を帰宅させた。西棟4階から、海岸方向コンビナートで火災が発生しているのが見えた。爆発の様子も見え、火柱がドンと次々と4本上がった。出光千葉製油所の方向よりは北側で、ネットで見るとコスモ石油の五井製油所とのこと。岩手県久慈市の地下石油備蓄基地にも大津波で被害発生と連絡があった。



五井のコスモ石油の製油所の火災写真。
隣のチツ石油化学にも延焼した。ヘリの写真で判るが、LPGタンクが燃えている。爆発も起きた。ネットのニュースでは、大津波が発生し大被害となっている様子を映していた。



太平洋プレートが北米プレートとぶつかる三陸沖は周期的に大地震が発生している。しかしながら、M7.5~8.0の規模であり、今回のM9.0は前代未聞であろう。世界最大級の巨大地震であった。

1995.1.17: 阪神淡路 M 7.3

2004.12.26: スマトラ沖 M 9.1

2010.2. : チリ M 8.8

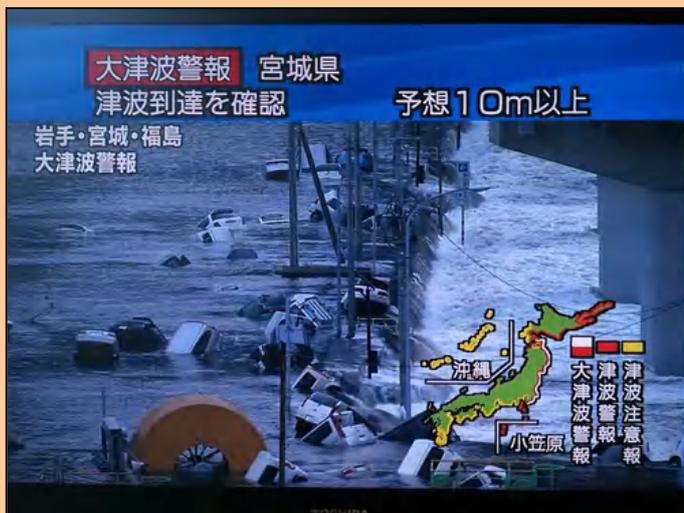
都内も被害甚大。東京タワーの先も曲がっちゃった。



九段会館も天井が落ちて、女性2名が死亡というニュースもあった。お台場でもビル火災発生。首都での震度6は関東大震災以来。

15:30に職場点検を実施したが、最中に妻にメールした。15:40返信あり、都内にて無事を確認。ただし電車が全く動いていないため家族みな帰宅難民となった。あとから気づいたが、最初は長女から家族全員宛に15:08にメールが発信されていた。気づかず返信せずごめん。

18:00過ぎに会社のバスが五井方面に出発するというので、帰宅を決める。最悪は五井の長男のアパートに転がり込もうと思った。五井からなら自宅まで40kmくらいと思い、10時間を歩くつもりで出発。五井でコンビニに入ったが、弁当やおにぎり調理パンなど腹の足しになるような食べ物は無い。1個だけ残っていたコロッケと、4個あったメロンパンを1個、ワッフルがあったのでこれも1個買った。お茶500mlのペットボトルも買った。まずは腹ごしらえをする。コロッケが結構暖かかったのにびっくり。携帯の音声通話は全く通じない。メールはOK。妻に再度メール。



大津波がやってきた。至近の宮城県で25~29分後。高さは潮位計が壊れて確認不可能だったが、相馬で7.3mの記録を出した。千葉県外房で2.3m位であったが、被害が発生。帰宅してから見るニュース映像はとても現実とは思えない、すさまじい破壊力で建物や車、木々をなぎ倒し、船舶を転覆させ、見ていられない悲惨な状況である。



仙台の石油コンビナートも火災が発生し、夜空に赤々と炎が上がる。これも五井のコスモ石油と同じく、LPGが燃えていると言う。

後からの報告であるが、津波の高さは大船渡で最大23mであった。15m以上の場所がたくさんあって、3階建ビルの屋上に漁船が乗っかっている写真もあった。

最大津波は第2波と言う。何度もTVのニュースで衝撃的な映像が流れる。ものすごい勢いの津波だ。



津波が去って、折れ曲った電車の車両。

地震で牡鹿半島は東へ5.3メートル移動し、標高で1.2メートル沈下した。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し深くお悔やみ申し上げ、哀悼の意を表す。被災された皆様が一日も早く普段の生活に戻ることができるよう、心よりお祈り申し上げます次第である。

ここでまだ大きな問題が残った。原発の被災である。制御棒は的確に挿入されて運転は停止したものの、炉心の冷却装置が破壊されメルトダウンが発生した。放射性物質が拡散し、多くの放射線被爆が発生したのだ。見えない恐怖が多くの福島県民に、そして首都圏までも影響した。東京電力幹部の無気力な対応、政府からの情報不足と記者会見のお粗末さ、政治家は責任の転嫁かパフォーマンス、小出しの対策と後手・誤判断による被害の拡大……。一千年に一度と言われる、今回の大震災。この未曾有の災害に、われわれ日本人は一致協力し団結して復興を果たし、そして栄光の未来へ希望を持つのではないか。



被災する前の「福島第一原子力発電所」。写真左下から、4号機・3号機・2号機・1号機、右上奥に5号機・6号機も見える。

運転中だった1～3号機は緊急停止。4～6号機は停止・点検中であつた。

原子力発電所の安全神話は、この大地震と津波によりあっさりと崩れ去つた。

1号機に始まり、3号機→2号機の順番に炉心溶融／メルトダウン。燃料棒の冷却ができなくなった。



上の写真、左下から1号機・2号機・3号機で、1号機の建屋は爆発して上部が吹き飛び、3号機も爆発し建屋は崩壊。2号機は建屋の爆発こそなかったが、原子炉圧力容器の外側のコンクリート製格納容器が圧力上昇により穴が開き、放射性物質が噴出した。

予想外は休止中の4号機。使用済み燃料棒プール内の温度が上昇し、プールの水が蒸発。火災が発生した。

右上の写真の左側が3号機で中央が4号機。ここからも放射性物質が拡散。正門付近の放射能は毎時400ミリシーベルトまで上昇した(3月15日am10時)。

現場で処理する東京電力社員のフィルムバッチも、累積で100ミリシーベルトを超える人が1週間で出始めた。

男性は150ミリシーベルトで精子の生産が抑制されて、不妊症に直結する。確実に被爆している。恐ろしい。

放射性物質は、都内や千葉県内でも毎時0.2マイクロシーベルトのレベルに達した。住民は避難指示、外出は控え被爆を最小限にすべく内閣官房からの指導が入る。野菜や畜産物から放射線が確認され、出荷停止。風評被害も広まる。

原子力発電所の事故は人災に近い。被害を受けた農家の方々にお見舞いを申し上げたい。



天災に備えるために

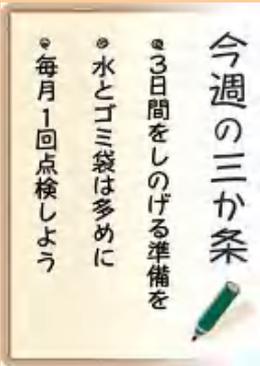
お勧め防災グッズ20点

- ▽懐中電灯(ヘッドライトも可)
- ▽食料品(乾パンはお年寄りに不向き)
- ▽食品包装用ラップ(皿に敷いて洗い物の手間を省く)
- ▽ポリエチレン袋(最低45リットル以上)
- ▽携帯ラジオ(電池不要やライト付きなども)
- ▽トイレトーパー
- ▽電池(懐中電灯など用)
- ▽ウエットティッシュ
- ▽手袋・軍手
- ▽小銭(公衆電話用。10円で)
- ▽使い捨てカイロ
- ▽カセットこんろ
- ▽多機能ナイフ
- ▽布製の粘着テープと油性ペン

- ▽ウエストポーチ(貴重品入れに)
- ▽薬
- ▽紙コップ
- ▽水
- ▽アルミ箔(はく)(食べ物を温める)
- ▽紙皿

定期的な点検しよう。食品・水の消費期限に注意する。

以上



番外編

震災後、首都圏で初めての降雨。その翌日に利根川水系の浄水場でヨウ素131が検出された。1日だけの現象ではあったが、引き続き監視を実施している。群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都に降った汚染された雨が利根川水系に集まったのだろう。自宅のある市川市も例外なく放射線に汚染されている。

ヨウ素の放射線半減期は8日なので特に問題視する必要はないが、今後はCs(セシウム)134や137などの放射性金属を測定していくようである。こちらは体内に取り込まれると、半減期が長いので厄介だ。

特別成人に対する影響はないものと判断できるが、乳幼児に対して、浄水摂取の自粛を政府が通達したためにかなり混乱した。市場から、ペットボトルの飲料水が消えてしまった。神戸在住の私の姉が、ペットボトルの水を送ってくれた。

続きのページがあります

東京都浄水場の放射線量測定結果

測定機関: 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

採水日時: 2011年03月23日09時

単位: Bq/キログラム(ベクレル/キログラム)

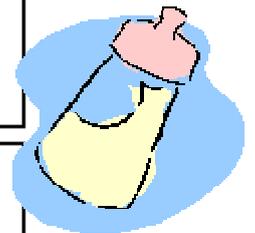
採水場所	放射性ヨウ素 (ヨウ素131)	食品衛生法に基づく 乳児の飲用に関する 暫定的な指標値	原子力安全委員会 が定めた飲食物摂取 制限に関する指標値
金町浄水場	190	100	300
朝霞浄水場	不検出		
小作浄水場	不検出		

※ 不検出 ≤ 20Bq/キログラム

千葉県浄水場の放射線量測定結果

単位: Bq/キログラム(ベクレル/キログラム)

採水場所	放射性ヨウ素 (ヨウ素131)	採水日
ちば野菊の里 浄水場	220	2011年3月23日
栗山浄水場	180	
柏井浄水場 (西側施設)	85	
ちば野菊の里 浄水場	90	2011年3月24日
栗山浄水場	76	
柏井浄水場 (東側施設)	97	
(西側施設)	65	
北総浄水場	93	
福増浄水場	不検出	



ここから郡山編

首都圏でも尋常ならぬ被害がたくさん発生したが、わがふるさと郡山市も例外ではない。柱が折れて座屈してしまったビルや道路の陥没、田畑に段差や亀裂が多く発生した。JR線路は曲がり全面不通となった。

歴史ある郡山商工会議所会館は大きく破壊し、後に取り壊され撤去してしまった。

そして、何と云ってもわが母校安積高校の旧本館である「安積歴史博物館」も被害を受けた。幸いにも建物躯体は震災に耐え、屋根瓦の割れ落下も少なかったが、漆喰の壁や展示物は大きく被災し、休館を余儀なくされた。

右上は市内の岸本ビル、左下は市内の道路(熱海)。下は取り壊し中の商工会議所会館ビル。



安積歴史博物館内部の漆喰壁はほとんどすべて割れ落ちた。職員やOBの手で大掃除を実施したが、その復興には多くの費用と時間を要することになった。

国の重要文化財であったため、国・県・市からの補助金交付が決まり、不足分を募金で賄う方針を立て、復興事業が始まったのである。



そして、幸いにも安積OBの会社により復興建設が始まり、2年にも及ぶ大補修工事が始まったのである。

きらくや社長の村田英男様、写真をお借りしています。

でも悪いことばかりではない、被災地の復興を願う全国の善意が集まってきた。まずは、インフラの整備。今回の大震災で高速道路、東北本線といった補給路を断たれた。その中でガソリン不足を解消するためのルートとして比較的震災被害の少ない磐越西線が選ばれ、横浜根岸から高崎線、上越線、新潟ターミナル、磐越西線経由で郡山(日本オイルターミナル)に、毎日タンク車20両合計900トン運ぶ。急な峠を越えるため、タンク車は10両に分割してDD51の重連で運行する。それらDD51は門司、吹田、稲沢(愛知)から集められた。



磐越西線の復旧整備も終わり、本運転の初日が大震災から15日目の3月26日であった。1番列車のヘッドマークには泣かされる。



9月2日の復興地鎮祭



安積歴史博物館の工事は着着と進んでいった。そしてそして、2013年9月には完工し、安積OBボランティアの多くの手を借りて、図書棚や什器の搬入が行われた。ついに2013年10月5日より、土日祝日限定ではあるものの、仮の開館の運びとなったのである。

2013年10月3日
福島民友

震災の復旧工事を終え、
仮オープンした安積歴史
博物館

復活、明治の学びや



安積歴史博物館

物館(旧県尋
常中学校本

同館は土、
日曜日、祝日

いく考え。
同館は1889(明治
22)年に創建された鹿鳴
館風建築。創建時のまま
保存されている貴重な文
化財とされている。問い
合わせは同博物館(電話
024・9388・077
8)へ。

東日本大震災でしっく
い壁が剝がれ落ちるなど
した郡山市の安積高敷地
にある国指定重要文化財
の安積歴史博
物館(旧県尋
常中学校本
館)は2日、仮オープン
し、関係者が待望の復旧
工事を完了を祝った。5日
から約2年7カ月ぶりに
一般公開を再開する。
同博物館の山口勇理事

長、安積高関係者がテ
ープカットした後、伝統
的な工法で復旧工事が施
された廊下や教室のしっ
くい壁やガラス、建具な
どを見て回った。

できる。平日は予約が必
要。本オープンは来年9
月を予定しており、ギャ
ラリーやコンサート会場
など「より市民に開かれ
た施設」として活用して

シャンデリアも美しく輝
き、本館講堂は蘇った。

またこの場所で、多くの
講演会、演奏会、展示
会ギャラリーや映画の口
ケも行われるだろう。

わずか3年間の学び舎
ではあったが、この本館
で授業を受け、安積高
校の生徒として過ごした
時間は忘れることのない
貴重な時であった。

卒業してから40年を
越えても昨日のように、

若き青春の自分を思い出す。この旧本館がある限り、いつ訪れても変わることのない安積高校の心安らかな、ほっとする空間と時間を取り戻し、しばし現実を離れてしまう。

首都圏で生活する私たちも、時にはここを訪れて、例えようのない郷愁の念に浸りながら、懐かしい日々を思い出したい。頑張れフクシマ！！ 応援するぞ。

以上